

県北と県政をつなぎ、生活の基盤をもっと強固に。

飯塚としひこ

発行
埼玉県議会自由民主党議員団
飯塚俊彦県政調査事務所



ダイジェスト版

〒367-0062 本庄市小島南 2-4-24 TEL 0495-71-6603 FAX 0495-71-6682

地域の発展と安心・安全の実現に向け全力!

県議会議員として県政に送り出していただき2期8年間、地域の発展と人々の安心・安全の実現に向け全力で駆け抜けてまいりました。微力ながら実現させてまいりました主な事業をご報告させていただきます。

2期8年間の主な実績
ダイジェスト版

今後も皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りながら、精一杯働いてまいります。

降ひょう被害で 県・国に支援を要望

約8億8千万円の支援予算を確保



今年6月2日及び3日に発生した降ひょうは、県内の農業関連で約38億円に及ぶ大きな被害となりました。私たち自民党県議団は、いち早く6月6日に大野知事に早急な対応を求める要望書を提出。さらに6月21日には農林水産省及び自民党本部を訪れ、降ひょう被害と高騰する配合飼料価格に対する支援を要望しました。この結果、8億7,450万8千円の支援予算(補正予算)を確保することができました。



▲被害状況について写真パネルを示して詳細な説明をし支援をお願いしました。

◀大野知事は6月3日の朝、上里町・本庄市を緊急視察されました。

備前渠用水路が世界かんがい施設遺産に登録実現



農業用水路「備前渠用水路」の「世界かんがい施設遺産」への登録を目指し、県に強力な支援を求めるなど県議として一貫して取り組んできました。その努力の甲斐もあり、令和2年12月、「世界かんがい施設遺産」としての登録が決定しました。

▶備前渠用水路土地改良区が世界かんがい施設遺産登録に向けまとめたパンフレット。同用水路は慶長9(1604)年に伊奈備前守が整備した埼玉県でも最古級の農業用水路で、平成18年2月3日には「疎水百選」に選定されています。



本庄道路の全線事業化が実現!!



本庄道路(国道17号バイパス)II期工区の実業がスタート。県議会議員として県内選出の衆参国会議員の先生方と協力して取り組みを重ねてきた結果です。一日も早い完成に向け、予算の確保に努めてまいります。

本庄寄居線・上里鬼石線の延伸事業始まる

本庄道路の全線整備事業化決定にあわせて、県道上里鬼石線に続き、県道本庄寄居線についても本庄道路までの延伸事業が始まっています。



▲県道上里鬼石線。国道17号線の交差点付近から本庄道路方向を望む。



▲県道本庄寄居線。国道17号の交差点付近から本庄道路方向を望む。拡幅され本庄道路へとつながります。



▲沼和田地区



▲新神流川橋は今年中の完成を目指し現在急ピッチで工事が進められています。

▼花園本庄線

令和4年度も予算を大きく確保することができ、小山川に架かる橋の上部工に着手していくなど、建設工事は順調に進められています。





▲ 道路改良(歩道整備) (勅使河原本庄線)

引き続き道路の改良事業(歩道整備)が行われています。



▼ 藤岡本庄線 (上里町長浜)

道路の修繕及び歩道の整備が進められています。



▲ 広木折原線 (美里町/円良田湖)

道路改築事業は順調に進んでいます。早期完成に向けしっかり取り組んでいく所存です。



▼ 新宿交差点(神川町新宿)

新宿交差点は県道上里鬼石線と国道462号が交差する交通の要所です。右折帯の整備が進められています。



▼ 交差点改良、小島4丁目交差点

小島4丁目交差点は県道勅使河原本庄線と市道5391号線の交差点です。4方向ともに右折帯が整備され、スムーズかつ安全に通行できるようになりました。



▲ 矢納浄法寺線(住居野地区)

道幅を広げる工事を進めています。早期完成に向けしっかり取り組んでいく所存です。



▼ 発電所橋前の道路拡幅 (吉田太田部譲原線)

道路の拡幅及びガードレール、道路標識等の設置が実現しました。

≡≡≡ 小山川・元小山川の堤防強化事業 ≡≡≡

本庄市堀田地区は令和元年東日本台風で、住宅の床下浸水、道路や農地の冠水、作物被害などが生じ、地元の皆さまから迅速な対応を求める声をいただきました。現在、小山川及び元小山川合流部の堤防強化が急ピッチで進められています。



◀ 小山川と備前渠川の合流地点。洪水時における排水機場へのアクセスの向上が図られました。写真は小泉龍司代議士と現地を視察した際の様子。(2019年12月17日)

T O S H I H I K O I I Z U K A

美里町(小山川)の堤防修繕

令和元年東日本台風で堤防や護岸が損壊した箇所の復旧事業は令和3年5月に完了しています。

▶当時の小山川の被災状況(2019年10月20日撮影)



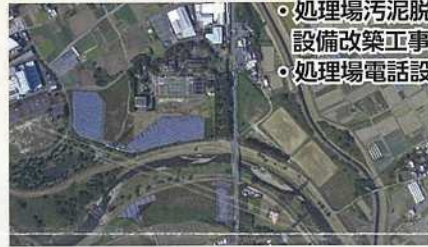
女堀川の護岸改修

令和元年東日本台風の際に護岸が崩れた箇所の改修工事が令和3年5月に完成し、現在は引き続き未改修箇所の工事が急ピッチで進められています。



小山川水循環センター

- 処理場汚泥脱水機電気設備改築工事
- 処理場電話設備設置工事



本庄市、美里町、神川町、上里町の下水を処理している小山川水循環センターでは、設備の改修事業が順調に進められています。

S-GAP加速化推進事業が進行中▶

S-GAPのバージョンアップと国際水準の農業推進については、一般質問などで県に提言を重ねてきました。現在、年間約200経営体、5年間で累計1,600経営体の農場評価を行う計画が進行中です。



スマート農業の普及促進進む

スマート農業の普及は魅力ある農業の発信につながる事業として、一般質問など機会あるごとに提言をしてきました。その結果、令和2年度から県もアクションプランをとりまとめ、本格的に普及に取り組んでいます。私が期待する農業施策の一つです。



栗崎地区のほ場整備▶

本庄市栗崎地区ではほ場整備(土地改良)実施に向け、準備が順調に進められています。



プロフィール

昭和35年 本庄市上町生まれ
 本庄西小学校、本庄西中学校卒
 昭和54年 埼玉県立本庄高等学校卒
 昭和55年 日本国有鉄道奉職
 平成15年 本庄市議会議員初当選
 平成18年 新本庄市議会議員当選
 平成26年 本庄市議会議長就任

全国市議会議長会評議員
 関東市議会議長会理事
 埼玉県市議会議長会副会長
 埼玉県旧3区市議会議長会会長
 平成27年 埼玉県議会議員当選(現在2期目)
 令和4年 県土都市整備委員長



大野知事とタッグを組んで県政に全力!!

県北と県政をつなぎ、生活の基盤をもっと強固に。

飯塚としひこ

発行
埼玉県議会自由民主党議員団
飯塚俊彦県政調査事務所

ダイジェスト版
〈第二段〉



〒367-0062 本庄市小島南 2-4-24 TEL 0495-71-6603 FAX 0495-71-6682

県議会12月定例会報告 エネルギー価格・物価高騰等への緊急支援など

補正予算【第5号】**115億2,695万4千円**
補正予算【第6号】**129億1,642万8千円** **を議決**

県議会12月定例会は12月2日から22日にかけて開催され、一般会計補正予算【第5号】及び【第6号】、埼玉県証紙条例を廃止する等の条例などを議決しました。

補正予算【第5号】の主な内容は、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により厳しい状況に置かれている事業者、県民への更なる支援策として46億2,684万7千円が計上されました。また、脱炭素社会に向けた省エネ再エネ設備導入の促進策として10億3,127万6千円が盛り込まれ、中小企業等の省エネ・再エネ設備の導入費用の一部が補助されることになりました。

補正予算【第6号】は妊婦や子育て家庭に対する支援として87億4,533万4千円や幼稚園等の送迎時における事故防止対策として14億9,006万円などが盛り込まれました。これにより一般会計補正後累計額は2兆4,330億3,883万円となりました。



**大野知事と、県政から
地元問題まで連携を密
に取り組んでいます。**



一般質問報告

(県議会12月定例会/令和4年12月14日)

国産堆肥の普及促進など 7項目について提言

県議会12月定例会においては一般質問に登壇する機会を得て、7項目11件について、県の施策に対し質問・提言をしました。

一般質問全項目

1 資源循環の取組について

- (1) サーキュラーエコノミーの推進について……………(知事)
- (2) 下水汚泥の肥料化とその農業現場における普及について……………
……………(下水道事業管理者、農林部長)
- (3) 循環型の国産肥料の普及促進について……………(農林部長)

2 証紙制度廃止後のキャッシュレス化について……………(会計管理者)

3 県立高校の統合後における魅力ある学校づくりについて……………(教育長)

4 誇るべき本県の養蚕業について……………(農林部長)

5 医師不足地域における地域医療を担う人材の育成について (保健医療部長)

6 障がい者・健常者のスポーツ振興について……………(県民生活部長)

- (1) パラスポーツの支援について
- (2) スポーツ行政の一元化について
- (3) スポーツによる共生社会の実現について

7 国道17号本庄道路の整備について……………(県土整備部長)

※一般質問の詳細(全文)は埼玉県議会のホームページをご参照ください。→

<https://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/>



地域の潤いある発展を目指し

視察

知事が県北地域を視察



(株)シェリエ 上里カンターレにて

大野元裕県知事が「ふれあい訪問」で県北地域を視察されました。



神川町立丹荘小学校にて



本庄市の古民家カフェ「大門家」にて



ホテルルートイン熊谷を視察

新型コロナウイルス関連の患者（無症状者・軽症者）を受け入れているホテルルートイン熊谷を視察しました。

桶川飛行学校 平和祈念館を視察

桶川飛行学校平和祈念館では、小野桶川市長、糸井市議会議長が出迎えてくださり、館内を丁寧に説明していただきました。



FUKAYA WORKS を視察

深谷市にオープンした、だれでも気軽に農業が体験できるワーケーション施設「FUKAYA WORKS」を視察。移動式小型栽培施設「Veggie」などを見学しました。

地元

本庄道路建設

自民党県議団の国道17号道路建設促進期成懇話会同盟会は合同で、小泉代議士に先立って、埼玉県と国土交通省へ要請活動を行いました。財務省では主計局次長が、国土交通省へ要望書を手渡しました（令和元年11月）



戦出戦れ、させ

本庄警察署を表敬訪問

小島南自治会長と共に本庄警察署を訪問しました。



嘉田由紀子氏の講演会

嘉田由紀子参議院議員（元滋賀県知事）を、生まれ故郷の本庄市の団体によりお招きし、「地球温暖化に治水推進」と題して講演会が行われま

一般質問

《2期8年の記録》

【（ ）内は答弁者と質問時の議会／インフラ事業は除く】

医療・保健・福祉

- 人生100年時代に必要「オーラルフレイル」の予防・改善について（保健医療部長／令和4年2月定例会）
- 新型コロナウイルス感染症による少子化加速への懸念について（保健医療部長、福祉部長／令和2年9月定例会）
- 母乳バンクの普及について（保健医療部長／令和2年9月定例会）
- 乳幼児医療費助成制度における窓口無料化について（保健医療部長／令和元年9月定例会）
- 高齢単身世帯の増加を踏まえたプラチナ・サポート・ショップの拡大について（福祉部長／令和4年2月定例会）
- SAITAMA出会いサポートセンターによる結婚支援について（福祉部長／平成30年12月定例会）
- 再犯防止に向けた保護司活動の支援について（福祉部長／平成30年12月定例会）
- 離婚後の面会交流や自立について（福祉部長／平成30年12月定例会）
- 東京2020パラリンピックに向けた障害者スポーツ支援について（福祉部長／平成29年12月定例会）

- 埼玉県における障害者スポーツ支援について（福祉部長／平成28年6月定例会）
- 病児保育について（福祉部長／平成27年6月定例会）
- 就学前の発達障害児への支援について（福祉部長／平成27年6月定例会）
- 農業関連
- S-GAPのバージョンアップと国際水準の農業推進について（農林部長／令和4年2月定例会）
- スマート農業の普及について（農林部長／令和2年9月定例会）
- 和牛繁殖牛のゲノミック評価による本県の畜産振興について（農林部長／平成30年12月定例会）
- 農業用ため池の防災対策について（農林部長／平成30年12月定例会）
- 和牛繁殖牛のゲノミック評価について（農林部長／平成29年12月定例会）
- 和牛繁殖牛の改良について（農林部長／平成28年6月定例会）
- 農業振興について（農林部長／平成27年6月定例会）
- 移住促進
- 地域エリアを意識した移住の促進について（砂川副知事／令和4年2月定例会）
- 移住促進施策について（砂川副知事／令和2年9月定例会）

日々奔走しています。



2期8年間の主な実績
ダイジェスト版〈第二段〉

良促進を国に要望

号バイパス本庄
と本庄道路期成
いただいたき、財務
官では副大臣に要
6日)。



橋本聖子氏の男女 共同参画講演会

「上里町総合文化センター(ワーブ
上里)」で東京オリンピック・パラリン
ピック競技大会組織委員会の橋本聖
子会長をお招きして、「男女
共同参画
講演会」が行われました。(令和
4年3月5日)



会場前で橋本聖子会長と



子会長を
お招きし
て、「男女
共同参画
講演会」
が行われ
ました。(令
和4年3月5日)

県道花園本庄線の 早期整備を要望

県道花園本庄線改
良促進期成同盟会は
県道花園本庄線の早期整備を県に要望しました。

没者追悼式に 席

没者追悼式が執り行わ
れ、地元選出県議として出席
していただきました。



飯塚先生招き「お口の健康講座」

本庄児玉郡歯科医師会
長の飯塚能成先生を小
南ふれあいサロンにお
招きし「お口の健康講座」を
開催しました。



本庄ボーイズ 卒団式に出席



お祝いのご挨拶をさせていただきました。

ロービジョンフットサル日本選手権開催

第16回ロービ
ジョンフットサル日
本選手権がカミケ
ンシルドームで開
催されました(令和
4年4月17日)



ロービジョンフットサルは、主に弱視の選手で構成される5人制のフットサルです。

埴保己一学園でゴールボール体験会



県立特別支援学校埴保己一
学園は東京パラリンピック
のゴールボール女子で銅メ
ダルを獲得した萩原紀佳選
手らの母校でもあります。

本庄第九演奏会

本庄第九演奏会に出演しまし
た(平成28年5月1日)。



児玉郡市合唱連盟に働きかけ実現したこともあり、思い入れのある演奏会となりました。

耕作放棄地を 減らそう!!



耕作放棄地をを少しでも減らそう
と小和瀬農村環境保全協議会や地
域の仲間との協働の取り組みです。

よる災害多発化時代の流域
した。(令和2年10月25日)

- 本県の移住促進施策等について(企画財政部長/令和元年9月定例会)
- 県内の古民家等を活用した移住推進の取組について(企画財政部長/平成30年12月定例会)
- 空き家対策の充実について(都市整備部長/平成28年6月定例会)
- 経済対策
- コロナ禍が続く中での県制度融資の対応について(産業労働部長/令和4年2月定例会)
- 県北部地域の観光振興について(産業労働部長/平成29年12月定例会)
- 産業観光の創出による地域活性化について(産業労働部長/平成28年6月定例会)
- ふるさと納税について(総務部長、企画財政部長/平成28年6月定例会)
- 地域文化
- 備前渠用水路の世界かんがい施設遺産登録について(農林部長/令和元年9月定例会)
- 県民の芸術文化活動の振興について(教育長/平成30年12月定例会)
- 埴保己一賞について(福祉部長/平成27年6月定例会)
- 安心・安全
- 事故の発生率を踏まえた地域交通安全対策について(警察本部長/令和4年2月定例会)

- 県北部地域の救急搬送の実態について(危機管理防災部長、保健医療部長/平成29年12月定例会)
- ふるさとを守る施策について(危機管理防災部長/平成28年6月定例会)
- (1)埴玉県地域防災計画(地震)について
- (2)災害対応体制と業務継続計画(BCP)について
- (3)災害用Wi-Fiの整備について
- その他
- 県職員の採用に係る創意工夫について(人事委員会委員長/令和4年2月定例会)
- 流域下水道の維持管理負担金の地域格差について(下水道事業管理者/令和2年9月定例会)
- 流域下水道の維持管理負担金の南北格差について(下水道事業管理者/平成29年12月定例会)
- マイナンバー制度について(企画財政部長/平成27年6月定例会)

九都県市合同防災訓練に出席



第41回九都県市合同防災訓練が川口のSKIPシティで開催され出席しました。



県議団勉強会 古川参議院議員を迎え



医師である古川俊治参議院議員をお招きし、新型コロナウイルス感染症の変異株や接種が始まったワクチンの有効性について説明いただきました。

一般質問を吉田市長が傍聴



一般質問後に自民党県議団の控え室にて。右から吉田信解本庄市長、岡田静佳県議(所沢市)と私。



星野富士見市長と

富士見市長の星野光弘氏とガッチリ握手。県議会では一期先輩でした。

県議団勉強会 公訴時効撤廃について

議会

熊谷市小4男児死亡ひき逃げ事件の遺族、小関代里子氏を講師にお招きし、死亡ひき逃げ事件に関する公訴時効の撤廃についての学習会が行われました。



デフリンピック選手が表敬訪問

「第24回夏季デフリンピック競技大会」でメダルを獲得した埼玉県ゆかりの選手が県議会を表敬訪問されました(令和4年6月9日)



小倉涼選手(坂戸市) 空手(形/女子形 金メダル、女子組手 金メダル)、沼倉昌明選手(朝霞市)、長原茉莉美選手(朝霞市) バドミントン(団体戦 銀メダル)、森本真敏選手(本庄市) 陸上(男子ハンマー投げ 銀メダル)

埼玉県議会 剣道部

暫く練習はできていませんが、少しずつ以前のように練習できるようになればと願っています。



議員提案政策条例(平成27年度~令和4年度)

2期8年の間に私たち自民党県議団が提案し制定してきた条例です。

- 被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例(議決:H27.7.10/施行:H27.11.1)
- 埼玉県手話言語条例(議決:H28.3.25/施行:H28.4.1)
- 埼玉県障害のある人もない人も安心して暮らしていける共生社会づくり条例(議決:H28.3.25/施行:H28.4.1(一部H28.7.1))
- 理容師法施行条例及び美容師法施行条例の一部を改正する条例(議決:H28.12.22/施行:H29.12.25)
- 埼玉県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例の一部を改正する条例(議決:H29.3.27/施行:H30.1.1)
- 埼玉県農林水産業振興条例(議決:H29.3.27/施行:H29.3.28)
- 埼玉県虐待禁止条例(議決:H29.7.7/施行:H30.4.1)
- 埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部を改正する条例(議決:H29.10.13/施行:H30.4.1)
- 埼玉県小規模企業振興基本条例(議決:H29.12.22/施行:H29.12.26)
- 埼玉県犯罪被害者等支援条例(議決:H30.3.27/施行:H30.3.30)

- 埼玉県民栄誉章等について議会の議決事件と定める条例(議決:H30.3.27/施行:H30.3.30)
- 埼玉県主要農作物種子条例(議決:H30.3.27/施行:H30.4.1)
- 埼玉県青少年健全育成条例の一部を改正する条例(議決:H30.10.12/施行:H31.4.1(一部H30.12.1))
- 埼玉県特殊詐欺撲滅条例(議決:H31.3.15/施行:H31.3.19)
- 埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例(議決:R1.12.20/施行:R2.4.1(一部R4.4.1))
- 埼玉県ケアラー支援条例(議決:R2.3.27/施行:R2.3.31)
- 埼玉県受動喫煙防止条例(議決:R2.3.27/施行:R3.4.1)
- 埼玉県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例(議決:R2.12.18/施行:R3.4.1)
- 埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例(議決:R3.3.26/施行:R3.10.1)
- 埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例(議決:R3.12.22/施行:R3.12.24)
- 埼玉県ひきこもり支援に関する条例(議決:R4.3.25/施行:R4.3.29)
- 埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例(議決:R4.7.7/施行:R4.7.8)
- 埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例(議決:R4.7.7/施行:R4.7.8)
- 埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例(議決:R4.10.14/施行:R5.4.1)

プロフィール

昭和35年 本庄市上町生まれ
 本庄西小学校、本庄西中学校卒
 昭和54年 埼玉県立本庄高等学校卒
 昭和55年 日本国有鉄道奉職
 平成15年 本庄市議会議員初当選
 平成18年 新本庄市議会議員当選
 平成26年 本庄市議会議長就任

全国市議会議長会評議員
 関東市議会議長会理事
 埼玉県市議会議長会副会長
 埼玉県旧3区市議会議長会会長
 平成27年 埼玉県議会議員初当選(現在2期目)
 令和4年 県土都市整備委員長



埼玉県議会議員

松井 ひろし

県政報告

令和4年(2022年)
春号

発行 埼玉県議会自由民主党議員団
埼玉県議会議員 松井ひろし県政調査事務所

新たな150年に 向けた挑戦

直面する危機からの脱却と 日本一暮らしやすい埼玉に向けた 将来像の実現へ



令和4年度埼玉県一般会計当初予算を策定

県予算とは県の一年間の収支計画ですが、県の抱える課題や近未来予測をも包含した「県のかたち」の根幹を作り上げるものです。県議会2月定例会は、2月17日に開会し、一般会計で過去最高となる2兆2,284億5,900万円等を議決し、3月25日に閉会しました。

今年度は、最重点課題として、新型コロナウイルス感染症対策として、「直面する危機からの脱却」を掲げ、引き続き強い緊張感と危機感を持って取り組んでまいります。検査・医療提供体制の確保やワクチン接種を着実に進めるとともに、今後の感染再拡大への備えを万全なものとしていかなければなりません。関連予算は約1845.5億円が計上されました。

その上で、ウィズコロナ、さらにはポストコロナを見据え、感染症と共存できる強い埼玉県経済を構築する必要があります。その代表がDX(デジタルトランスフォーメーション)です。感染拡大を契機に浸透したデジタル技術の導入を中小企業をはじめとする事業者へ推進し、今後さらに活用していくことで、社会全体のDXを実現させ、本県の持続

可能な発展・成長に取り組みます。県庁のDX化推進に約31.8億円、中小企業DX化支援に約1.8億円、キャッシュレス決済導入のための商店街支援に約104億円などが計上されました。

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

次に、令和4年度は新たな5か年計画の初年度となります。「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」に当たり、この計画を着実に実行に移してまいります。

人口減少社会の到来や異次元の高齢化、さらには自然災害の激甚化・頻発化など、今後本県を取り巻く環境は大きく変化していきます。このような中でも、新たな社会生活への変革を進めることで、さまざまな社会課題を解決してまいります。

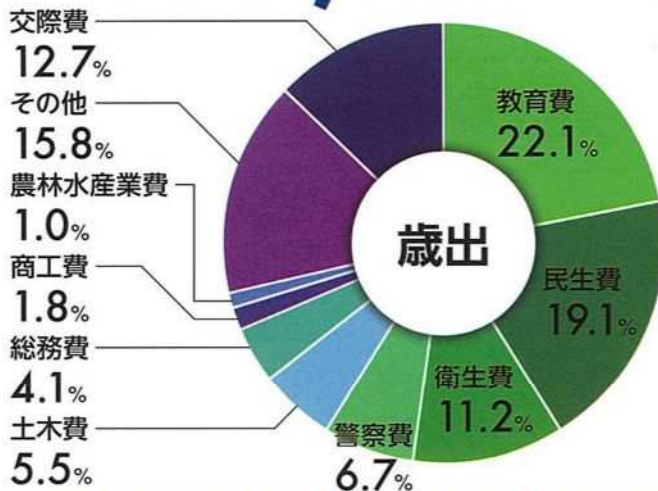
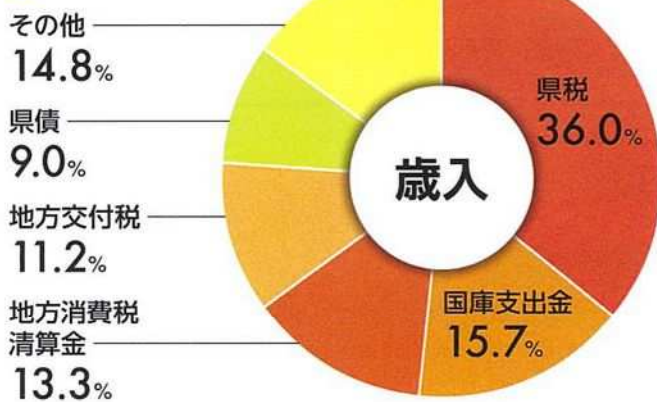
本県が目指すべき3つの将来像である「安心・安全の追究」「誰もが輝く社会」「持続可能な成長」の実現に向けた強い信念を持って、「日本一暮らしやすい埼玉」を目指し全力で取り組むこととお約束いたします。

一般会計当初予算額

2兆2,284億5,900万円

前年度比**5.1%**増

歳入・歳出内訳



当初予算のポイント

- 予算規模は昨年度に引き続き2兆円を突破し、過去最大を更新
- 新型コロナウイルス感染症対策に1,880億円(前年度比約7割増)を計上
- 投資的経費は過去10年で最大の1,822億円を計上し、公共事業費も1,000億円超を確保



令和4年2月定例会
産業労働委員会副委員長
委員会報告



令和3年10月1日から「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」施行 浦和駅にて普及活動



埼玉県所沢児童相談所を視察

PICK UP

令和7年度開所へ向け

進む！朝霞地区児童相談所の設置



基本設計の予算が計上されました

要望していた朝霞地区への児童相談所、第8児童相談所（仮）設置について、令和7年度の開所に向け着々と準備が進められています。

施設概要
建設地：朝霞市青葉台1-2-16
敷地面積：約4,367㎡
主要用途：児童相談所 (一時保護所併設/定員30名)
階数・構造：地上2階・鉄筋コンクリート造
建築面積：約2,200㎡
延べ面積：約3,990㎡
建物高さ：約9.6m（一部12.1m）
付属建築物：駐輪場等



整備スケジュール（予定）	
令和3年度	設計
令和4年度	
令和5年度	建設工事
令和6年度	
令和7年度	開設

直面する危機からの脱却

1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止

医療提供体制等の確保

感染動向を踏まえ、医療機関向けの支援を行うとともに、入院医療機関への協力金を拡充するなど、引き続き必要な入院医療体制を確保します。

また、宿泊療養施設を引き続き確保するとともに、新たな変異株による感染急増に備え、自宅療養者の健康観察体制を拡充します。

ワクチン接種の推進

接種医療機関などへの支援を行うとともに、追加接種を加速するため、県ワクチン接種センターを県内4カ所体制に拡充します。



福祉施設における感染拡大防止対策

福祉施設リリーフナース制度を構築し、クラスター発生時の施設内の療養体制を確保するとともに、平時での巡回指導により感染症対応能力の向上を図ります。また、保育所などにおけるトイレの乾式化や非接触型水栓の設置などに対して助成します。

2 社会全体のDXの推進とウイズコロナ下での経済回復・成長

デジタル人材の育成・確保支援

県内中小企業のDXの取り組みを推進するため、企業のニーズに対応した在職者訓練を実施するとともに、即戦力となるデジタル人材の紹介手数料への助成などを実施します。

行政手続等のデジタル化の推進

県営住宅の入居申し込みや物品等入札参加資格申請のデジタル化など行政手続のオンライン化を進めるとともに、公金収納のキャッシュレス化を推進していきます。



エッセンシャルワーカーの処遇改善

看護師・保育士・幼稚園教諭、介護施設、障害福祉施設職員等を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提とした場合の処遇改善を実施いたします。

看護師	保育士、幼稚園教諭、 介護施設や障害福祉施設職員等
収入を1%程度引き上げ（月額4,000円） ※10月以降は診療報酬の改定により3%程度へ	収入を3%程度引き上げ（月額9,000円）

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来

1 安心・安全の追究

防災関連公共事業の推進

災害に強い県土づくりとして、緊急輸送道路などにおける無電柱化推進などハード整備によって防災力を高めるとともに、ソフト対策により減災力を高める流域治水対策を推進します。



2 誰もが輝く社会

多様なニーズに対応した教育の推進

教員の指導用端末整備を進め、さらなる学習環境のデジタル化に取り組みます。また、不登校やいじめ問題などに対応するためスクールソーシャルワーカーの配置を拡充し、オンラインでの相談体制も構築します。



3 持続可能な成長

埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進

プロジェクトの事業化に向けた取り組みを実施する市町村を財政面から支援するとともに、まちづくりを検討している市町村に提案や助言を行い、きめ細かな支援を実施します。



県内中小企業への技術開発などの支援

大学と企業が連携した研究会の開催や、成長が見込まれるカーボンニュートラル、デジタル、バイオ、マテリアルに関連する技術・製品開発への助成を実施するなど県内中小企業の技術開発力向上を支援します。また、脱炭素化に向けた計画的なCO₂排出削減設備の導入などに対して助成します。

県政に対するご意見やご要望など、何かございましたらお気軽にご相談ください。
お電話、メール、FAXだけでなく、事務所での相談も随時させていただきますが、不在の場合が多いため、事前にご連絡を頂いてからご訪問下さるようお願いいたします。

埼玉県議会議員 **松井ひろし** 県政調査事務所
〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
☎048-483-4256 FAX 048-483-4257 ✉info@matsuihiroshi.com
ホームページ <http://www.matsuihiroshi.com/index.html>

朝霞から埼玉県を**変**える!

埼玉県議会議員

松井ひろし

令和4年(2022年)夏号 **県政報告**

発行 埼玉県議会自由民主党議員団
埼玉県議会議員 松井ひろし県政調査事務所

MATSUI HIROSHI

県議会6月定例会報告

原油価格・物価高騰に 対する **経済支援** として

補正予算
第1号・第2号 **27億4,975万1千円**

県議会6月定例会は6月17日から7月7日にかけて開催され、一般会計補正予算【第1号・第2号】あわせて27億4,975万1千円を議決しました。

補正予算の主な内容は、ウクライナ情勢や円安の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、国による「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」に基づくもので、県として緊急に対すべき事業として生活者への支援（5億495万6千円）と事業者に対する支援（9億

6,932万9千円）が大きな柱となっています。また、当面緊急に対すべき事業に加え、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資を促進するための予算（11億3,056万6千円）が盛り込まれました。

市制施行55周年記念式典に出席

朝霞市市制施行55周年記念式典が5月22日、朝霞市民会館（ゆめばれす）にて開催されました。

式典では地方自治功労者など679名の方々の表彰式が行われたほか、特別表彰を受賞された東京2020オリンピック大会メダリストや大相撲の小結大栄翔関からのビデオメッセージが紹介されました。



原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

学校給食等の物価高騰に直面する保護者等への支援
9,406万5千円

概要
学校給食等の食材価格高騰に直面する保護者等の負担増加の回避のため、当面の間、**食材価格高騰相当額を補助**する。

対象校
県内で学校給食等を実施している以下の学校
 > 県立の中学校・夜間定時制高校・特別支援学校
 > 私立の小学校・中学校・特別支援学校

補助内容
学校給食等の食材価格高騰相当額を学校に対し補助（15%を目安）
 <各校の給食費>
 県からの補助 ⇒ **価格高騰相当分(45円)**
 (例)一食あたり 300円→345円に高騰した場合
 保護者負担額(変更なし) 保護者負担(300円) 各業者へ支払い

夏休み期間の子供の食事等を確保するための支援
8,137万3千円

概要
子供の居場所等の活動支援を通じて、夏休み期間に限り、子供の食事等を確保するため、**食品や学用品を子供に提供する**。

内容

- 提供品を用意
 - 食品：レトルトカレー、パックご飯 など
 - 学用品：ノート など
- 子供の居場所等へ提供品を利用して子供とのつながりを継続
- 子供たちの手元へ
 - 食事機会の増
 - 子供の見守り機会の増

県内企業と協力・連携

県内地域公共交通事業者への支援
4億2,880万円

概要
県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を支援するため、**燃料費高騰の影響分を補助**する。

補助対象等
 > 補助対象：乗合バス 2,400台 タクシー 5,900台
 > 対象期間：令和4年4月から9月まで

県内観光関連事業者（貸切バス・旅行事業者）への支援
2億9,306万5千円

貸切バス事業者に対する経営支援
 > 補助対象：貸切バス 1,800台
 > 補助額：15万円/台

旅行事業者のバスツアー造成に対する補助
 > 補助額：日帰り 5万円/旅行商品
 宿泊(県内) 10万円/旅行商品
 宿泊(県外) 5万円/旅行商品

脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資の促進

県内中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援
4億 699万9千円(債務負担行為 限度額 5億5,475万円)

(1) 緊急対策枠の創設による支援強化
エネルギー使用量やCO₂排出量の削減を加速させるため、省エネ・再エネ設備の導入費用を補助する緊急対策枠を創設し、補助率を従来から拡充する。

- > 補助上限額：500万円
- > 補助率：1/3・1/4 → 2/3
- > 申請手続きの簡素化

(2) エネルギー対策特例の創設による支援強化
カーボンニュートラルの実現に向けた県内中小企業等の設備投資を支援するため、設備投資促進資金に「エネルギー対策特例」を創設する。

- > 融資枠：100億円
- > 融資利率：0.6～1.0%(利子補給率0.6～0.7%)
- > 融資限度額：設備投資資金 1億5,000万円 運転資金 5,000万円

住宅の省エネ・再エネ設備投資への支援
2億9,355万7千円

現行の補助制度の拡充による支援強化
エネルギー使用量やCO₂排出量の削減を加速させるため、既存住宅の蓄電システムの導入等への支援を拡充する。

- > 補助件数の拡大 1,932件 → 3,864件
- > 蓄電システム：5万円/件 → 10万円/件
- > エネファーム：5万円/件 → 10万円/件
- > 高断熱窓：補助率1/10・上限5万円 → 補助率1/5・上限10万円

県内施設園芸農家の省エネ転換への支援
4億3,001万円

省エネ機器等の導入支援
施設園芸農家に対して、燃料費高騰の影響を受けにくい省エネ機器等の導入経費の1/2を補助する。

- > 補助対象：ヒートポンプ、被覆資材等、品種・品目転換のための種苗購入費

県内中小企業等の資金繰りへの支援
7,000万円(債務負担行為 限度額 7億円)

概要
原油・原材料価格の高騰に対応するため、経営安定資金(知事指定業種)の緊急融資枠を拡大する。

- > 融資枠：100億円 → 300億円
- > 融資利率：0.6～0.8%
- > 融資限度額：運転資金 8,000万円

県内畜産農家への支援
1億 745万2千円

概要
県内畜産農家の経営支援のため、配合飼料価格のうち飼料メーカーの製造コスト上昇分の一部について補助する。

飼料メーカー 製造コスト 県補助で支援 輸入原料価格 国制度で補填

- > 補助額：配合飼料購入量 500円/トン

朝霞市の安全安心と活性化のため 東奔西走

所沢児童相談所を視察してきました

児童虐待や育児放棄の実態をはじめ、児童相談所の業務の実情について詳しく知ることができました。必要な人材の確保や施設の修繕など、課題は山積しています。



穂坂代議士交え座談会

穂坂泰衆議院議員を交え、地元の方々や地域の課題などについて意見交換を行いました。



駅頭でエレベーターの安全利用をPR

エレベーターの安全な利用を、駅を利用する方々に訴えました。埼玉県では昨年10月から「エレベーターの安全利用条例」が施行されています。



朝霞市バレーボール大会

朝霞市総合体育館にて開催された第37回朝霞杯争奪小学生バレーボール大会に応援に駆けつけました。各出場チームとも熱戦が繰り広げられていました。



朝霞市少年サッカー大会

朝霞市新人戦少年サッカー大会武蔵野カップが開催され、閉会式にてお祝いのご挨拶をさせていただきました。



朝志ヶ丘自治会総会

朝志ヶ丘自治会総会が4月24日に開催され、地元選出の県議会議員として出席しました。



スポーツ少年団 育成母集団研修会

朝霞市スポーツ少年団 育成母集団研修会に参加。ジュニアアスリートの心と体についてや、少年団の在り方などの研修を受けました。



狭山茶議員連盟で茶業研究所を視察

県議会狭山茶振興議員連盟で6月4日、茶業研究所を視察しました。



デフリンピックメダリストが表敬訪問

第24回夏季デフリンピック競技大会にてメダルを獲得した埼玉県ゆかりの選手4名が6月9日、埼玉県議会を表敬訪問され、県議会オリンピック・パラリンピック応援議員連盟の一員として出席しました。4選手には県議会から記念品を贈呈しました。



国会及び迎賓館を見学



ハツ場ダムを視察

商工会建設部会としてハツ場ダムの視察研修会が6月9日に行われ参加しました。



県議会議事堂エントランスを彩る生け花



松井弘県政調査事務所にて



県政に対するご意見やご要望など、何かございましたらお気軽にご相談ください。お電話、メール、FAXだけでなく、事務所での相談も随時させていただいております。ただし不在の場合が多いため、事前にご連絡の頂けると幸いです。

埼玉県議会議員 **松井ひろし** 県政調査事務所
 〒351-0011 朝霞市本町 3-4-17 ☎048-483-4256
 FAX 048-483-4257 ✉info@matsuihiroshi.com
 ホームページ <http://www.matsuihiroshi.com/index.html>

自由民主党議員団
埼玉県議会議員

松井ひろし

HIROSHI PRESS

未だコロナウイルスとの戦いが続いておりますが、皆様のご尽力により行動制限の無い日常を過ごすなかで、地元朝霞市では彩夏祭、県内各地でも伝統行事を開催することができました。県民市民の笑顔こそが、埼玉県の活力だと改めて強く感じた次第でございます。

引き続き「自由民主党の現職議員」として何事も諦めずに先手の提案・提言を続けて参りますので、ご指導よろしくお願い致します。



結果を出す政治

私の思い～

経済活性化

元気で便利な埼玉県・朝霞市へ！

政権与党として実感できる原油高・物価高騰対策、中小企業支援を菅義偉前内閣総理大臣に要請し、臨時国会での補正予算成立に期待しております。埼玉県でも補正予算編成に取り組み、学校給食費補助、省エネ・再エネ設備投資補助が実施されます。9月定例議会に於きましても経済対策について鋭く提言していきます。県道における渋滞対策の予算獲得、朝霞台駅エレベーター設置、武蔵野線増便の実現に向け、自民党の人脈をフル活用し、大企業への働きかけを進めています。できなかったことが、前進するように訴え続けていきます。



地震・豪雨・災害に強く！

異常気象により各地で線状降水帯が発生し、豪雨災害の被害が出ております。残念ながら、現在の技術では台風のように事前に線状降水帯を予知することができません。首都直下地震の発生確率も高まる中、いつ発生するかわからない災害には危機管理体制が必要です。政府と連携して堤防強化主要道路の強靱化、

避難場所整備が急務であります。体育館など避難所に指定されている施設があっても非常用発電機やエアコンが設置されてなければ、真夏、真冬に発生したら耐えられません。まさに、やるべきことが山積しています。今後も危機管理防災体制をより強固なものにし、県民市民の生命・財産を守る提言を続けていきます。



安心して暮らせる地域づくり！

埼玉県は人口10万人当たりの医師数が全国ワースト1位の状況です。大学病院と附属医学部の誘致を急ぎ、医師の地域派遣協定を実現させるために活動しています。人口が増加している朝霞地区においても産院からシニア医療までの充実を提言し、「生みたい・育てたい・住み続けたい埼玉」の取組みを継続しております。報道の度に胸が痛くなる「詐欺・虐待被害・孤独死問題」は身近で起こり得ると考えています。官民一体の孤立孤独対策を提言して参ります。

県政報告特別版

発行 埼玉県議会自由民主党議員団
埼玉県議会議員 松井ひろし 県政事務所

私が考える災害対策！

道路・河川整備

※一部抜粋

県議会では2月定例議会で新年度予算案を審議して、最大会派の自民党県議団が中心となり可決・成立を行っております。

首都圏で直下型地震、異常気象による大雨などの大規模災害が発生した場合、全国から警察、消防、自衛隊の救助部隊や食料、生活必需品などの救援物資が集まることとなります。

緊急輸送ルートの確保を早期に確実に図るため、主要な市街地等と高速道路のアクセス強化、ネットワーク機能の向上、

道路情報ネットワークシステム、道路防災対策等を通じて安全性、信頼性の高い道路網の整備を図る必要性があります。



緊急輸送道路に対する取り組みでは耐震強化、地域防災計画や防災業務計画等で、緊急輸送道路の耐震強化を示し、その計画に基づき耐震性の向上などを図るよう提言してきました。また、緊急輸送道路の沿線における建物の不燃化、耐震化を促進し、地震による道路を塞ぐおそれのある建築物を少なくすることも必要です。液状化が想定される地域内の緊急輸送道路にあるマンホールについては、液状化による浮上防止対策を推進し、災害時における緊急通行車両等の通行を確保



すること、危険箇所の調査、発災後に応急復旧作業の協力が得られるよう、あらかじめ体制を整備することも不可欠です。

洪水予報河川及び水位周知河川に指定されている「新河岸川・黒目川」については、水防法第14条に基づき、想定する最大規模の降雨により河川が氾濫した場合には、浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域として指定し、

指定の区域が浸水した場合に想定される水深、浸水継続時間等を公表することになっております。河川整備計画に基づき、



洪水による災害発生の防止と軽減を図るため、県の改修目標である時間雨量 50 mm程度の降雨により発生する洪水を安全に流すことができる治水施設の整備を後押し、気候変動の影響による豪雨の激甚化・頻発化を踏まえ対策が必要です。



人命・財産への被害を最小化する為あらゆる関係者が協働で治水対策に取り組む体制を推進して参ります。

図 埼玉県県土整備部による朝霞市内の箇所付け予算額



254号バイパスなど基幹道路の整備、膝折町の急傾斜地崩落対策、黒目川、新河岸川などの河川整備は災害対策における「命を守る予算」だと強く求めてまいりました。

先輩議員、執行部の協力もあり、私が初当選させていただいた令和2年度予算から今年度における朝霞市内での予算も徐々に増やすことができました。



災害対策に終わりはなく、さらなる備えが必要だと考えておりますので、皆様からのお意見とご指導よろしくお願いたします。



松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。彩夏祭実行委員長を始め、地域ボランティアに力を注ぐ。

地域の発展には政治の決断が必要と考え、2019年埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。現在は警察危機管理防災委員会に所属し、災害対策に取り組む。

好きな食べ物「アジフライ定食」

Instagram
活動報告記信中



松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257
メール: info@matsuihiroshi.com

自由民主党議員団
埼玉県議会議員

松井ひろし

HIROSHI PRESS



皆様のご尽力により行動制限の無い日常を過ごしておりますが、「原油・物価高騰」による生活への影響は日に日に大きくなっております。菅前総理大臣、大野知事、穂坂代議士にも訴えて参りましたが、市民生活の安定は「政治の責任」であり、県民市民の笑顔こそが埼玉県の活力だと考えております。12月定例議会では私の一般質問も予定しておりますので、皆様からご意見、ご指導お待ちしております。

結果を出す政治

守り抜く責任

最大規模の補正予算で原油・物価高騰 コロナへの対応強化！

大野元裕知事はじめ県執行部には、原油・物価高騰による地域実情を説明してきました。国の8月の消費者物価指数は、前年同月比で2.8%の上昇と、令和4年4月から5か月連続で上昇率が2%を超える状況となっていました。8月の企業物価指数においては更に高い伸びとなる前年同月比で9.0%の上昇と18か月連続で前年を上回るなど、引き続き高い水準が続いています。



大野知事に直談判

また民間の調査では10月に約6,500品目の食品等の値上げが見込まれるなど、更なる家計の圧迫や企業の売上げへの影響等が懸念されます。特に生活必需品の相次ぐ値上げは、日常への影響のみならず、経済の悪化から少子化、貧困問題、自殺者増加等の社会問題にも直結すると考えております。「生きたい・育てたい・住み続けたい埼玉」実現のためにも補正予算の成立は必要不可欠でした。まだまだ足りない部分もありますので、一つでも多く地域の声を県政に反映できるように提言を続けていきます。

一般会計補正予算(第4号)

一般会計	歳入歳出予算	1,765億1,218万9千円	過去最大規模
	(補正後累計)	2兆4,085億9,544万8千円	
	繰越明許費	53億4,627万5千円	

主な内容

- 原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・生活困窮者等への緊急支援 88億2,889万5千円
- 原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援 15億 83万5千円
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止 1,619億6,282万円
- 在宅医療・介護等従事者の安全確保対策 1億9,616万円
- 公共事業等の追加 17億4,971万8千円

9月定例議会では原油価格や物価の高騰、長引く新型コロナへの対応を目的とした補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円の計上及び一部条例改正等を議決しました。補正予算の内、74億1,872万4千円は原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援として、トラック運送事業者、観光事業者、農業者、福祉施設等への支援策が盛り込まれています。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援策として15億83万5千円、生活困窮者等への緊急支援策として14億1,017万1千円、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として1,619億6,282万円等が盛り込まれました。その他、今年1月にふじみ野市で医師らが散弾銃で撃たれて死傷した事件を受け、在宅医療等の安全対策費として1億9,616万円を計上し、複数人での訪問に係る経費や通話録音装置等の導入経費を補助することとなりました。私たち自民党県議団はこれからも一丸となって、誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に向け、日々邁進してまいります。

最大会派としての責任！

9月定例議会にて自由民主党議員団からは県民市民の暮らしに関わる県政の重要課題について、77項目にわたり質疑・質問を行いました。

まず、「埼玉県5か年計画」にも盛り込まれている地域医療体制の拡充に関し、喫緊の課題である埼玉県の医師不足、地域偏在を指摘し、医師不足の解消が具体的にどの程度進んだのか質問しました。また、公立中学校の休日の運動部活動を、スポーツクラブなど地域の民間団体に段階的に移行していく「部活動の地域移行」について、大きな転換点であるとして、様々な角度から質問をいたしました。

このほかにも、団塊の世代がすべて75歳以上になる2025年が目前に迫っていることから、「農業の2025年問題」を取り上げ、解決策について深く質問をいたしました。さらに、自由民主党県議団として、「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例」を提案し可決されました。

私たち、自由民主党議員団は、県議会最大会派として責任を果たすべく、県民の声に耳を傾け、埼玉県のさらなる発展に向け、全力で取り組んでまいります。

未来への責任！

10月14日 自由民主党埼玉県支部連合会より令和5年4月執行予定「埼玉県議会議員選挙」における第1次「公認候補予定者」が私も含め発表されました。責任政党の一員として、結果を出す政治に取り組んで参ります。



菅前総理と
穂坂代議士
対談後写真

地域の声をカタチに！

イベントや行事が再開されてきました。実際にお会いして話すことによって、皆様方の元気な姿を見られて大変嬉しく思います。

また、一緒に汗を流すことで新たな発見や課題も見つかります。農業従事者の方からは相続の課題、シニア世代からは地域のバリアフリーや特殊詐欺電話の相談、イベント主催者からは利用する会場の利便性の相談などもありました。少しでも改善できるように同志の議員とも連携して、行政に提言を続けていきます。各種行事、早朝の駅前、御用聞き地域まわり等で皆様の声をお聞きしておりますが、お会いできていない方も多くいらっしゃいます。県政に関係なくても、お気軽にご連絡ください。



松井ひろし 一般質問傍聴のご案内

12月12日 10時より
(9時30分県議会議事堂入口集合)



※お申込み、質問、移動方法などについては、県政事務所までお電話ください。



松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。
彩夏祭実行委員長を始め、地域ボランティアに力を注ぐ。
地域の発展には政治の決断が必要と考え、2019年埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。
現在は警察危機管理防災委員会に所属し、災害対策に取り組む。
好きな食べ物「アジフライ定食」

Instagram
活動報告配信中



松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257
メール: info@matsuihiroshi.com

自由民主党議員団
埼玉県議会議員

松井ひろし

HIROSHI PRESS



平素は私の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルスも変異を続けていましたが、3年ぶりに行動制限のない年末年始を過ごすことができました。県民市民の笑顔こそが埼玉県の活力であり、市民生活の安定は「政治の責任」であります。インフルエンザの同時流行も懸念されていますので、基本的な感染対策を怠らないように、十分注意してお過ごし頂ければと思います。

結果を出す政治

市民の安心と笑顔こそ

地域経済を好循環へ！ 市民に寄り添った「まちづくり」

12月定例議会では「埼玉県一般会計補正予算(第5号)」を可決し、引き続きのエネルギー価格・物価高対策を続けていきます。

また、議員提出議案として県内で発生したインターネットカフェ個室立てこもり事件を受け、「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例」を自民党県議団が提案し、全会一致にて可決・成立いたしました。



一般会計補正予算(第5号)

一般会計	歳入歳出予算	115億2,695万4千円
	(補正後累計)	2兆4,201億2,240万2千円)
	債務負担行為	限度額 150億4,954万9千円
	繰越明許費	161億8,665万4千円

主な内容

○エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援	46億2,684万7千円
○脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備導入の促進	10億3,127万6千円
○森林管理道の冬期における通行確保	6,488万6千円
○公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保	債務負担行為 限度額 142億2,719万9千円 繰越明許費 146億8,307万8千円

本会議に於いて、この任期で最後の一般質問に立ちました。

初当選以来、最大会派である自民党県議団に所属し、県内各地の諸課題を共有してきました。1人では解決できない課題も会派の課題として提起し、各議員が幅広い分野で質問及び提言を行っております。

地元の諸課題は当然のこと、国との連携、県内全体の課題など、7分野について質問させていただきました。



■□7つの質問□■

- ① 災害対策及び地元問題について
- ② 建築物等の解体等工事時における石綿（アスベスト）の事前調査について
- ③ 部活動の地域移行に向けた課題への取組について
- ④ 中小企業の障害者雇用について
- ⑤ 空き家対策について
- ⑥ 世界のSAITAMAプロジェクトについて
- ⑦ 和文化イベントの開催方法の工夫について



本会議にて提言「結果を出す政治」

部活動の地域移行に向けた課題への取組みについて（一部抜粋）

～私の思い～

部活動の仕組みが成り立たない状況にある中、国の有識者会議より、休日の部活動から段階的に地域移行していくことを内容とする提言が、政府に示されました。

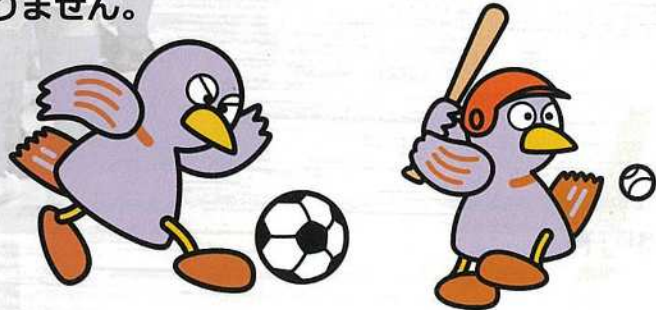
2023年度から3年間を改革集中期間として、早期の移行を目指すとしており、移行に伴う様々な課題を取り上げ、対応策が列挙されています。

しかし、**今後の中学校教育のあるべき姿や部活動の将来的な位置づけが明確になっていない**ため、市町村教育委員会はどのように取り組むべきか困惑している状況です。また、**保護者の方々の話を聞きますと**、異なる学年と活動することで上下関係を学び、教員を身近に感じていたという親御さんもいました。今後について子供たちに話が出来ず、**不安があるとの声が多いです**。

地域移行への課題は、**受け入れ先の整備や、指導者の確保、保護者負担、保険の在り方など多岐にわたっており**、改革集中期間内に移行できるのか危惧しております。

学校の働き方改革は不可欠だとは思いますが、本来の**目的は子供たちに継続してスポーツや文化・芸術に親しむことができる機会を確保すること**のはずです。

地域移行に向けた検討の中で、**子供達が置き去りになって議論されているように感じてなりません**。



質問内容

- 1) 受け入れ団体等の確保は県としてどのように市町村を支援していくか。
- 2) 指導者の確保はどのように支援していくか。教員が指導を希望する場合は、引き続き指導できるような処遇環境も整備すべきだが。
- 3) 保護者の費用負担軽減に向けて県としてどのように取り組んでいくのか。

答弁

1) 指導を依頼できるスポーツ団体等がないとする市町村が2割程度あり、吹奏楽部等の文化部につきましても、十分な受け入れ体制とは言えないと声も伺っております。

全県的なスポーツ・文化芸術団体への協力を要請するなど、受け入れ先となる団体等を確保できるよう支援してまいります。

2)

休日指導者は、地域の団体や民間クラブの指導者、大学生等が想定されており、各種関係団体等と連携し、市町村における指導者の確保が円滑に進むよう支援してまいります。

教員が希望する場合には、市町村教育委員会から兼職兼業の許可を得ることで、指導にあたることを想定しております。

3)

生徒が休日の活動に参加する場合、保護者が謝金、施設使用料や用具費及び保険料などを負担することとなります。市町村に対して、公共施設の優先利用や、低額での利用を認めるよう働き掛けるとともに、国に対して、経済的に困窮する家庭に対する補助等の財政的支援を要望してまいります。



命を守る治水対策について（一部抜粋）

～私の思い～

下内間木地区は、1982年の洪水で甚大な被害が出ています。朝霞調節池整備事業は2008年に施設が完成し供用を開始しました。調節池で洪水を溜めたり、調節池下流の朝霞水門で洪水を逃がしたりしています。現在は、国が整備した朝霞調節池があり治水効果を発揮しているところではありますが、**豪雨のたびに道路冠水がまだ発生**しています。新河岸川は、県でも朝霞水門から都境までの下流区間の改修を進め、下流に洪水が流れやすくしていますが、**越戸川については、国道254号バイパスから新河岸川との合流点までの最下流の堤防等がまだ未整備であることも、浸水の原因ではないかと考えます。**

国道254号は、関越道と並行して県内を南北に縦貫する地域の人やモノの移動を支える大動脈であり、災害時において広域的な緊急輸送路としての重要な役割を担う道路でもあります。現在、第二期整備区間である国道463号から朝霞市内までの区間が整備中です。整備は着実に進んでいるのですが、周辺の道路は依然として混雑が頻繁におきています。**渋滞の解消だけでなく、防災機能の向上や沿道開発による地域の活性化のためにも、第二期整備区間全線の早期完成を強く望んでいます。**



質問内容

- 1) 新河岸川下流区間の事業進捗状況について。越戸川最下流部を親水公園のように整備することについて。
- 2) 254号バイパス第二期整備区間について。JR武蔵野線と交差する付近の雨水対策について。

答弁

1) 都県境から約1.5kmを重点的に整備しており、既に930mが完成し、現在は芝宮橋上流の70メートルの護岸工事を実施しています。残る未整備区間も用地取得に努め、順次工事を実施します。

越戸川の上流区間は、地域による定期的なイベントが開催されるなど賑わいの場となっております。最下流区間の整備でも、地元市等からの意向を確認しながら、水に親しめる良好な河川空間の創出ができるよう努めてまいります。

2) 第二期整備区間のうち、約1.4km区間について、令和5年春の開通を目指し、工事を進めています。県道朝霞蕨線から県道さいたま東村山線までの約2.9km区間については、用地買収率が94%となっております。残る用地の取得に努め、軟弱地盤対策を行い、事業を推進してまいります。

JR武蔵野線とバイパスが交差する箇所は、旧河川敷であり、周辺の地盤に比べて低くなっています。そのため、大雨時にも交通の支障にならないよう、JR武蔵野線との交差構造の設計において、道路の雨水対策についても対応してまいります。



たはら亮 後援会 市政報告会



自民党として「政策大綱」「市町村要望」を提言！

「令和5年度政策大綱（392項目）」及び「令和5年度予算等に対する要望（市町村要望190項目）（議員要望50項目）」を大野知事に提出し、予算及び施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

予算については、引き続きコロナ対策、経済再生に向けた対策、災害に強いまちづくり、物価高騰対策を求めました。

予算を地元を獲得する為、自民党内で白熱の議論が行われます！

当選回数は力です！毎度、議員が変わる地域では執行部から信用されません。



第2弾のポスターが完成しました！

大野元裕埼玉県知事・ほさかやすし代議士との強固な連携で「市民の笑顔」と「まちづくり」の為に活動していきます。

ご自宅・駐車場のフェンス等で、ポスターを設置できる場所がございましたら、ご紹介いただきたく、お願い申し上げます。

※壁を汚さずに設置可能です。

※公職選挙法上、3月30日には撤去させていただきます。

※下記連絡先まで、お電話またはメールにて「ポスター設置について」とご連絡ください。



松井ひろし県政報告会のご案内

日にち：令和5年3月5日（日）

時間：午後4時より（3時30分受付開始）

場所：朝霞市コミュニティセンター
3階ホール（中央公民館内）

住所：朝霞市本町青葉台1-7-1

参加費：無料

※電話・メール・FAX・事務所への御来所等で
事前申し込みの御協力お願い致します

Instagram
活動報告配信中



松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。

彩夏祭実行委員長を始め地域ボランティアに力を注ぐ。

地域の発展には政治の決断が必要と考え、

2019年埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。

現在は警察危機管理防災委員会に所属し、
災害対策に取り組む。

好きな食べ物「アジフライ定食」

発行：埼玉県議会自由民主党議員団

松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17

TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257

メール：info@matsuihiroshi.com

自由民主党議員団
埼玉県議会議員

松井ひろし

HIROSHI PRESS



平素より私の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
物価高騰が止まりません。物価高騰を上回る賃金アップが必要ですが、
大多数の中小企業にとって賃上げは簡単な話ではありません。実感で
きる経済対策を政府、県執行部に強く要望して参ります。県民市民の
笑顔こそが埼玉県の活力であり、市民生活の安定は「政治の責任」
であります。常に「現場の声」「地域の声」を最優先に取り組みます。

結果を出す政治

市民の安心と笑顔こそ

子育て・防災を重点に！

埼玉県より令和5年度当初予算案が発表され、2月定例議会にて審議しております（3月17日可決予定）。全体としては一般会計2兆2110億9500万円と前年比0.8減になっておりますが、5月に予定されている、新型コロナウイルスの5類移行への関連費を除くと300億円程度の増加となっております。大野知事が安心・安全を再優先する意欲を感じました。重点政策として、私が訴えてきた「子育て支援の充実」「少子化対策の推進」「災害・危機に強い埼玉に向け、危機管理・防災対策の再構築・防災関連公共事業」等が多く盛り込まれていました。近隣市と関連する事案はたくさんありますので、ほさか代議士を中心とした朝霞4市自民党議員との連携で地元の諸課題は当然のこと、国との連携、県内全体の課題解決に取り組んでいます。

【主な新規・拡大事業】

DX推進による生産性向上	15億7500万円
新型コロナウイルス感染症拡大防止	1371億8500万円
電動車(EV・PHV)導入費補助	7億5300万円
介護人材の確保・定着促進	5億1300万円
保育士確保定着と保育の質向上	20億9300万円
地域の魅力創造発信と移住促進	9400万円
特色ある県営公園整備	67億8600万円
埼玉農業の競争力強化	1億100万円

埼玉県令和5年度予算案（一部抜粋）

- ①災害対策本部の機能強化 7900万円**
災害対策本部にICTを導入し、迅速な情報発信が可能になります。
- ②高齢者支援型臨時施設の確保・運営 28億7500万円**
シニア世代の新型コロナウイルス感染者が安心して宿泊療養を行うための運営費用です。
- ③第1子以降へのギフトボックス配布 4億5200万円**
2023年4月から2024年3月までに出産した世帯を対象に、ギフトを現物支給します。
- ④不妊症・不育症に対する支援 1億1800万円**
将来の妊娠、出産を見据えて、早期の検査を促すため、35歳未満の不妊症・不育症の検査助成を2万円から3万円に増額されます。
- ⑤家庭や企業の省エネ・再エネ促進 6億500万円**
エネルギー価格の高騰を踏まえ、蓄電池など省エネ・再エネ設備の導入を補助します。
- ⑥朝霞市に児童相談所を新設 1億4900万円**
児童虐待防止対策強化のため、2025年度に朝霞市内で新設されます。

2023年度当初予算※()は前年度比 一般会計

一般会計	2兆2110億9500万円(0.8%減)
特別会計	1兆2503億5915万円(1.4%増)
企業会計	1970億1572万円(6.8%増)

教育費の負担軽減 少子化対策待ったなし！

経済的理由で妊娠・出産を諦めるとの意見を耳にします。私自身3人の子どもに恵まれましたが、中学生ぐらいから教育費の負担は大きくなりました。学費負担苦での大学退学、新社会人になった際に高額借金を抱えている状況など、安心して子どもを生み育てる環境とは言えません。学びたい子供たちの希望のために、借金型の奨学金から給付型奨学金への転換を推進します。



健康寿命を延ばす 早期発見・早期治療を支援！

糖尿病は全国に1200万人いると言われておりますが、そのうち約25%の方は治療を受けていません。埼玉県では、糖尿病の重症化予防や介護予防など、健康長寿に向けた取り組みを全国に先駆けて展開。こうした取り組みは「埼玉県方式」として高く評価されています。

また、2人に1人が癌を発症する時代です。重要なのは早期に発見・治療することで、医療技術が向上した現代では、健康な生活を取り戻すことができるようになっていきます。1人暮らしの年金世代の方が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続することができるように包括支援を行い、政府の「人生100年時代」に向けた施策とも連携しつつ、誰もが健康で長生きできる「健康長寿社会」の実現を目指します。



実感できる 経済対策の推進！

物価高騰が止まりません。エネルギーコストの上昇に伴う電気・ガス料金の値上がりや電力の安定供給に、ほさか代議士と共に取り組んでおります。今後も政府与党の一員として、実感できる経済対策を強く訴えています。地域経済を支える中小企業・小規模事業者の、固定資産税ゼロ、事業承継時の相続税ゼロや、下請けいじめの撲滅、適切な利益分配の実現に向け、産業・業種ごとに取組みを強化します。深刻な人手不足に対応するため、設備投資、IT導入など生産性向上を支援するとともに、外国人材の受け入れを進めます。



都市農業を守る！ 継承できる環境整備！

埼玉県及び朝霞市は首都圏への農作物の生産地として都市農業も盛んな地域です。

新鮮な野菜が手に入りやすいだけでなく、身近な農業体験の場、地域交流の場、災害時の防災空間の提供などの多くの役割があり、大きな財産といえます。

一方、県全体では事業継承の課題等で農業従事者の方は減少傾向にあるのが現状であり、ウクライナ侵攻により食料自給率の問題が浮き彫りになりました。

私たちの生活を支える都市農業を未来につなげるために、道の駅の建設、販路の開拓支援などを推進しています。



市民目線で未来を見据えた「まちづくり」

激甚化する災害への 防災・減災対策！

大規模災害が発生した場合、全国から警察、消防、自衛隊の救助部隊や食料、生活必需品などの救援物資が集まることとなります。

また、緊急輸送道路沿線における建物の不燃化、耐震化を促進し、地震による道路を塞ぐ恐れのある建築物を少なくすることも必要です。危険箇所の調査、発災後に応急復旧作業の協力が得られるよう、あらかじめ体制を整備することも不可欠です。



「新河岸川・黒目川」については、最大規模の降雨により河川が氾濫した場合には、浸水が想定される区域を指定し、浸水した場合に想定される水深、浸水継続時間等を公表することになっております。河川整備計画に基づき、洪水による災害発生の防止と軽減を図るため、県の改修目標である時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水を安全に流すことができる治水施設の整備を後押し、気候変動の影響による豪雨の激甚化・頻発化を踏まえ対策が必要です。



人命・財産への被害を最小化するため、あらゆる関係者が協働で治水対策に取り組む体制を推進して参ります。



夢は ビッグプロジェクト！

県内屈指の通過率を誇る北朝霞駅と朝霞台駅ですが、朝霞台駅にはエレベーターが無く、車椅子やベビーカーを利用した時に不便な状況になっています。

駅南側には多くの調整区域（建造物が建てられない地域）があります。調整区域の用途変更と併せて、黒目川沿いも活用した渋谷の宮下パークのような革新的で新しい屋外施設の誘致を進めていきたいと考えております。ショッピング・食事・スポーツ・アミューズメントを網羅し、誰もが楽しめる公園で過ごし方は自由です。新たなカルチャースポーツの街にするべく取り組んでまいります。



強固な連携で
市民とともに
まちづくり

井土 増五郎 議員

松井
ひろし

井土 察郎 議員

井土 増五郎 議員

ほさか やすし 大野 元裕

自民党演説会

3月30日までポスター掲示のお願いです。
ご自宅、駐車場のフェンス等で設置できる場所がございましたら、ご紹介ください。
※壁を汚さずに設置可能です。



1期4年間で地域の皆様から 200件を超えるご相談をいただきました

254バイパス早期完成 


 朝霞市内に児童相談所の建設

内間木地区の道路冠水対策 


県道の陥没・ひび割れ補修 

各所信号機設置 

 朝霞第7小学校通学路の信号機時間調整

 朝霞駅東口周辺の危険だった自動車停止線を移動

 朝霞西高校トイレ改修

 コロナ給付金の申請方法

 根岸台 交通量の多い通学路にポール設置

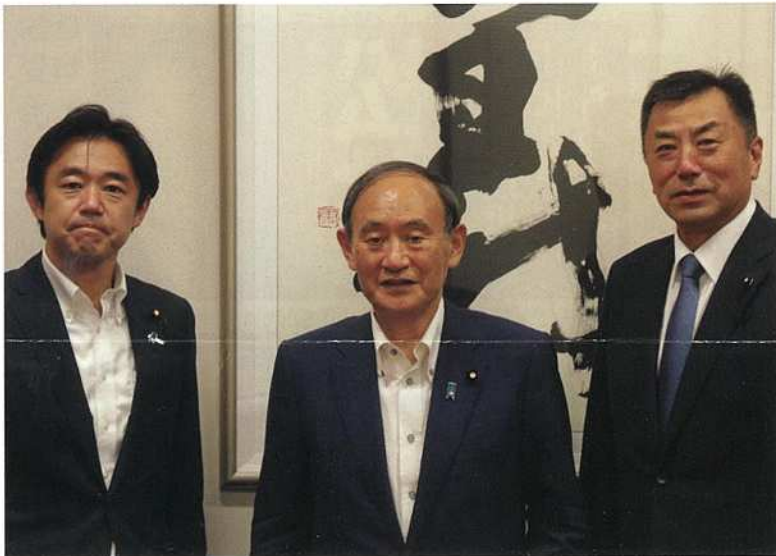


何事も全力で取り組みました！
継続中やできなかった事案もありましたが
これからも地域から必要とされる、
皆様に寄り添った活動を続けて参ります。

ご要望・ご相談は松井事務所までお気軽に
ご連絡ください。

TEL:048-483-4256

菅義偉前総理大臣との 演説会が決定！



3月25日(土) 午後4時より
(受付開始 午後3時より)

朝霞市民会館ゆめばれす 高砂

住 所：朝霞市本町1-26-1

参加費：無料

※駐車場が限られておりますので、公共交通のご利用及び相乗りでのご来場にご協力をお願いします。

※警備の都合にて可能な限り、電話/メール/Fax/事務所へのご来所にて事前の申し込みをお願いします。

是非、お越しく下さい。

Instagram
活動報告配信中



松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。

彩夏祭実行委員長を始め地域ボランティアに力を注ぐ。

地域の発展には政治の決断が必要と考え、

2019年埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。

現在は警察危機管理防災委員会に所属し、

災害対策に取り組む。

好きな食べ物「アジフライ定食」

発行：埼玉県議会自由民主党議員団

松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17

TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257

メール：info@matsuihiroshi.com